

平成 27 年度 本校で独自に実施した学力調査における 第 4 学年の結果分析と今後の学習指導の取組について

新宿区立淀橋第四小学校

1 実施した学力調査について

本校の 3 年生と 4 年生を対象として、学力調査を行いました。これは、本校が独自に予算化し、実施しているものです。

2 結果の分析と今後の取組

実施教科	現状や課題	改善に向けた取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○説明文の内容・要旨の理解で達成度の差が大きく出ました。 ○書く力の定着が低く、記述式の問題が苦手な様子です。文章の要旨を適当に書き表す力が身に付いていない児童がいることが明らかになりました。 ○自分の意見はもてるのですが、その意見がどの分類に属するのか判断がつかない児童が多くいます。 ○与えられた課題はきちんと取り組むのですが、既習事項を日常で活用することにつながっていない現状があります。そのため、漢字などの知識が定着していません。 	<ul style="list-style-type: none"> ○説明文の「問いの文」「答えの文」など、要旨に触れる文に印を付けさせるなど、文章構成を意識させながら、内容理解につなげる指導を目指します。 ○授業中に内容が同じ意見が出たら、声をかけ、日々の学習で分類し判断する意識をもたせるよう指導します。 ○日常の文章では既習の漢字を使うよう声をかけ、指導していきます。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○発言は多く、発表やノートは意欲的な姿勢で取り組んでいます。しかし、結果として二極化傾向が見られ、しかも下位層のほうが多いという結果になりました。知識が定着していない児童が多くいることが明らかになりました。 ○文章問題の読み取りができていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ○習熟度をしっかりと見取り、高めていく指導を意識していきます。 ○文章問題では、大事な部分に印を付けさせるなど、文章を正確に読む技術が身につくように指導していきます。

全体を通して	○発言・発表する児童の偏りが出てきました。ノートを見ると、意見を書くことができている児童でも、自信がないためか手が挙がらない時があります。	○事前に行った意見の良さを丸つけなどを通して評価し、自信をつけさせ、発表につなげるなど、段階をふんだ指導の工夫を行います。
--------	---	---

4 結果のご家庭での活用について

本校全体の、児童の学習における課題の一つとして、定着のための反復学習にとる時間の少なさが挙げられます。今回の学力調査の結果を基に、継続した家庭学習につなげていただければ幸いです。